この人！ 夢人（ゆーめーじん）

医療法人エターナル
ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック
理事長 福岩 達哉 先生

Q1　耳鼻科医を志したきっかけは？

A　医師を志したのは加世田中に通う頃からでした。医学部に入り「がん」の治療に関わりたいと考えながら病院実習をしていた時、舌がんを切除した後に自身のお腹の皮膚と筋肉を口に移植して舌をつくりなおす「再建外科」という分野を知りました。直径一㎜の血管を顕微鏡で十二針縫合して組織を移植する、とても繊細な外科医療です。特に耳鼻咽喉科では、がんを切除した後で「食べること」、「声を出すこと」などの、生きるために大切な機能を回復させる必要があります。実はがんの診断から外科治療、再建外科手術までをすべて行う耳鼻咽喉科医は頭頸部外科医と呼ばれていて、私は頭頸部外科医になるために耳鼻咽喉科を選択し、二〇〇八年まで鹿児島大学病院講師として再建外科手術を執刀していました。開業してからも「がん治療認定医」を取得し、頭頸部がん（舌がん、喉頭がん、甲状腺がんなど）の早期発見を目指しています。

Q2　耳のそうじは、どのくらいの頻度ですればいいのですか？

A　耳あか（耳垢）は自然に落ちてくるものですから、耳かきは一～二週間に一回で十分です。耳のあな（外耳道）と鼓膜は皮膚組織に覆われており、表面の皮膚は常に生え変わっています。古い皮膚（これが耳垢です）は脱落して、耳の外へと自然に運ばれていきます。これを自浄作用といいます。綿棒や耳かきを奥まで挿入すると、外に出ようとしている耳垢を押し込んでしまい逆にとれなくなってしまいます。また、耳垢には殺菌作用があり耳を守っているため、とりすぎないほうがよいです。

Q3　うがいの長さはどのくらいがいいですか？また、鼻のかみ方はどのようにすればいいですか？

A　うがい薬の販売メーカーによりますと、長さはあまり問題ではなく回数が大事のようです。数秒程度の適度な時間で何度も繰り返すことが効果的だと思います。鼻のかみ方は、左右交互にしてください。鼻をかまずにすすってしまうと、中耳炎を起こす原因になるのでやめた方がよいです。

Q4　今いちばん多い耳鼻科の病気は何ですか？

A　やはり多いのは「風邪をひきました」といってお越しになる患者さんです。季節の変わり目で朝方の気温が低くなりますと、湿度が下がりのどの粘膜が乾燥して、ウイルス・細菌感染を起こしやすくなります。これが「寒くなると風邪をひく」理由の一つです。一口に「風邪」といっても、実は複数の疾患をまとめた総称であり、具体的には扁桃炎、咽頭炎、喉頭炎、急性副鼻腔炎、急性鼻炎など多岐にわたります。これらを区別するために、耳鼻咽喉科では「鼻鏡にて鼻内の診察」、「後鼻鏡にて上咽頭（鼻とのどのつなぎ目）の診察」、「舌圧子で扁桃の診察」、「間接喉頭鏡で喉頭・声帯の診察」、「頸部触診によるリンパ節診断」を行っています。これらの診察結果をすべて総合して診断・治療を行う必要がありますので、「風邪症状」の診察はとても難しいのですが、それだけに耳鼻咽喉科の専門技術を最も生かせる場だと思って特に力を入れています。

Q5　アレルギーについて、気をつけることはありますか？

A　「アレルギー」という言葉には、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性結膜炎、さらに食物アレルギーなど多くの領域にまたがる疾患が含まれます。私は日本アレルギー学会認定専門医ですが「アレルギー性鼻炎」領域の専門医ですので、アレルギー性鼻炎に関して述べさせて頂きます。アレルギー性鼻炎を治療するためには、まず自身のアレルギーの原因（アレルゲンといいます）を知ることが必要です。原因がわかれば、そこから体を遠ざけることで予防ができますし、予防ができれば投薬治療を行う必要はありません。たとえば原因がハウスダスト・ダニならば、掃除の時にマスクをつける、閉め切った部屋では空気清浄機を使用して、湿度を五十％以下に保つ等の対策が、また原因がスギ花粉ならば、二月下旬から三月の日中外出時にはマスクをつける、帰宅時には衣類の花粉を払ってから入室する等の対策が必要です。「敵を知るにはまず味方から」、繰り返しますがまずは自身のアレルゲンを知ることが大事です。

Q6　先生の子どもの頃は、どのようなお子さんでしたか？

A　当時の加世田小学校は今のハーモニー付近にあり、不老橋をわたって通学していたのを思い出します。学校が終わったらいつもネズミ公園で「けいどろ（集団的な鬼ごっこ）」をして遊んでいました。スポーツは六年間、空手を習っていました。地域の行事では稚児踊りに毎年参加していました。そして工作が大好きで、廃品や空き箱を集めて変身ベルトとかロボットとか、わけのわからんものをいろいろ作っていました。この頃の将来の夢は「エジソンみたいな発明家」でした。

Q7　日常生活の中で、子どもたちに気をつけてほしいことは？

A　手洗いうがいをしっかりして、早寝早起き、ご飯をしっかり食べて、お友達と仲良く楽しく遊び、宿題だけは忘れずに、できればおうちのお手伝いもちょこっとしてもらって、って感じです。保護者の皆様が思っておられることと同じです。